

実践④ いちき串木野市立串木野小学校読み聞かせグループ「花さき山」(いちき串木野市)

平成17年度に、いちき串木野市立串木野小学校の家庭教育学級で、絵本の読み聞かせについて学ぶ機会が数回ありました。翌年には、学校全体で一斉に読み聞かせを実施することになり、そのために保護者への協力の呼びかけしたことがもとになって、「花さき山」が発足しました。当時の会員は保護者だけでしたが、徐々に輪が広がり、現在は、保護者・OB・地域住民で構成されています。

小学校での主な活動は、月2回程度の「朝の読み聞かせ」と、特設の「おはなし会」です。夏休み親子おはなし会では、小学生や父親に加えて、卒業した中高生も読み手になります。11月の読書月間おはなし会は、2日間に分けて実施します。学年別に選んだ絵本の読み聞かせや朗読、パネルシアター、手作り人形劇などは、子どもたちだけでなく、先生方にも喜ばれています。そのほか、特別支援学級おはなし会、さのさ集会おはなし会も行います。

また、市内外の保育園や幼稚園、小中学校、子育て支援センター、福祉施設などでの「出前おはなし会」や、県内各地の研修会に講師を派遣するなど、年々、活動の幅が広がっています。会員の資質の向上を目指し、県立図書館の講師派遣事業を利用したり、会員や地域の学校司書を講師にしたりして、学習会に多くの会員が参加できるようにしています。

お互いの貴重な時間を使う読み聞かせを、意義あるものにする選書が一番の悩みですが、選んだ本の世界に浸って楽しむ子どもたちの姿は、大きな喜びになります。特に嬉しかったのは、中学校の生徒会長から、「もう一度観たい。」と依頼され、生徒会主催のイベントで、朗読と人形劇を行ったことです。小学校時代に心に蒔いた種が花を咲かせたようで、喜びに包まれ、更なる意欲をかきたててくれました。

今後も、心通い合う読み聞かせの時間を子どもたちとともに楽しみ、本の世界の楽しさを伝えていきたいと思えます。

